

ご使用に際してこの説明文書を必ずお読みください。  
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

第3類医薬品

目のかゆみ・目の疲れ・目のかすみ

目薬

# アイビットV

8種類の有効成分配合

## アイビットVの特長

目の炎症・かゆみを抑える成分、目に栄養を与え疲れた目の機能を回復・改善するビタミン成分及び目の新陳代謝を高めるアミノ酸成分をバランス良く配合した目薬です。8種の有効成分が、アレルギーによる目のかゆみや、テレビ、読書、パソコン、車の運転や細かい作業などによる目の疲れ、目のかすみなどの不快な症状を改善します。



## 使用上の注意

### 相談すること



#### 1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (3) 次の症状のある人。  
はげしい目の痛み
- (4) 次の診断を受けた人。  
緑内障

#### 2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
目	充血、かゆみ、はれ

#### 3. 次の場合は使用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1) 目のかすみが改善されない場合。
- (2) 2週間位使用しても症状がよくなる場合。

## 効能・効果

目のかゆみ、目の疲れ、目のかすみ(目やにの多いときなど)、結膜充血、眼病予防(水泳のあと、ほこりや汗が目に入ったときなど)、紫外線その他の光線による眼炎(雪目など)、眼瞼炎(まぶたのただれ)、ハードコンタクトレンズを装着しているときの不快感

## 用法・用量

1日3～6回、1回1～3滴点眼してください。

### 《用法・用量に関連する注意》

- (1) 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- (2) 容器の先をまぶた、まつ毛に触れさせないでください。  
また、混濁したものは使用しないでください。
- (3) ソフトコンタクトレンズを装着したまま使用しないでください。
- (4) 点眼用にのみ使用してください。
- (5) 用法・用量を厳守してください。



容器の先をまぶた、まつ毛に触れないようにしましょう

(裏面につづきます)

## 成分とはたらき

ピンク色の透明な点眼液で次の成分を含んでいます。

成分	含量(100mL中)	はたらき
イブシロン-アミノカブロン酸	1000 mg	目の炎症を抑えます
グリチルリチン酸二カリウム	250 mg	アレルギー性の目の炎症を抑えます
クロルフェニラミンマレイン酸塩	30 mg	目の炎症やかゆみを抑えます
シアノコバラミン (ビタミンB12)	10 mg	目の調節機能に作用し、目の疲れを改善します
ピリドキシン塩酸塩 (ビタミンB6)	50 mg	新陳代謝を活性にし、疲れた目の機能を回復させます
酢酸d- $\alpha$ -トコフェロール (天然型ビタミンE)	50 mg	血行促進作用で目の血流をよくし、目に栄養を与えます
L-アスパラギン酸カリウム	1000 mg	目に栄養を与え、新陳代謝を活性にして疲れ目を改善します
タウリン	500 mg	目の細胞の新陳代謝を活性にし、目の疲れを防ぎます

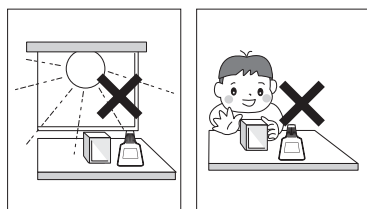
添加物として、ホウ酸、ホウ砂、ポリオキシエチレン硬化ヒマシ油、 $\ell$ -メントール、クロロブタノール、ベンザルコニウム塩化物を含有します。

### 《成分に関連する注意》

本剤はピンクの点眼液でこぼれてシャツなどに付着しても、水洗いすればシミは残りません。

## 保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。  
(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 他の人と共用しないでください。
- (5) 使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。
- (6) 保存の状態によっては、成分の結晶が容器の点眼口周囲やキャップの内側に付くことがあります。その場合には、清潔なガーゼで軽くふきとって使用してください。



## お客様相談係

電話番号：076 (431) 8863 [テイカ製薬(株)]

受付時間：9時から17時まで(土、日、祝日を除く)

## 副作用被害救済制度 ☎ 0120-149-931

## 包装

10mL

### おねがい

品質を保持するため高温下となる所に置かないでください。

自動車の車内や暖房器具の近くなど、高温になる場所に放置すると容器が変形したり、薬液の品質が劣化することがあります。

